

辺野古に基地はいらない。

意見広告

この運動はいかなる政党・政治団体にも属さない市民運動です。

「いのちの海」を「基地の海」にしないでください。

人間の誇りと尊厳をかけた、平和な暮らし、命の美しい海を守る

戦争や軍事力にたよらない平和を！

いまこそ、米海兵隊は撤退を！

安倍政権は日米安保条約の下、「集団的自衛権」を直視して戦争と武力行使を禁じた平和憲法(9条)を投げ捨て、アメリカ軍と肩を並べて「戦争のできる国」への準備を進めています。沖縄の新基地建設、オースレイ配備強行もそれと体です。基地のない平和な沖縄、そして日本をめざして、市民一人ひとりが声を挙げ、行動を起こしましょう。

辺野古は、沖縄の気候風土、自然環境、歴史・文化、そして人々の生活に深く根ざっています。ここに米軍基地が建設されると、沖縄の平和な暮らしは脅かされ、命の美しい海は「基地の海」に変わります。私たちは、辺野古に基地を建設することを断然拒否し、米海兵隊の撤退を求め、普天間基地の即時閉鎖と返還を求めます。

私たちは、戦争と軍力にたよらない平和な暮らしを望んでいます。沖縄の平和な暮らしを守りたい。命の美しい海を守りたい。私たちは、辺野古に基地を建設することを断然拒否し、米海兵隊の撤退を求め、普天間基地の即時閉鎖と返還を求めます。

米大手紙電子版に意見広告 稲嶺進名護市長のワシントン行動を支援し「辺野古新基地中止」を訴える

Bring Justice to Okinawa! Stop building the \$3 billion U.S. Base!

Save the Dugong! Save the Sea of Henoko!

「沖縄に正義をもちろそう」 「辺野古の海にも陸にも新たな基地は造らせない」

稲嶺進氏 名護市長

第5期沖縄意見広告運動(山内徳信、武重一代代表世話人)は、沖縄県名護市辺野古への米軍新基地建設に反対する稲嶺進市長の訪米に合わせ、5月19日〜21日の3日間、米有力ワシントンポストの電子版に、米軍普天間飛行場の辺野古移設一巨大新基地建設中止と普天間基地の閉鎖、米海兵隊の米本国への搬送を訴える「パネ」広告を掲載しました。パネに掲載されている時説広告サイトは、辺野古の海の機微や基本メッセージ、集团的署名の呼びかけ人であるノーム・チョムスキー氏(世界的言語学者)、オリバー・ストーン氏(映画監督)、マレーン・マガワイア氏(ノーベル平和賞受賞活動家)の「米国民と沖縄、人権と自然環境の権利を沖縄県民に返さねばならない」の共同メッセージと写真、「辺野古の海にも陸にも新たな基地は造らせない」の稲嶺進市長のメッセージと写真も掲載しました。広告全文は次で御覧いただけます。

米紙広告英語版 → <http://www.okinawaiken.org/washingtonpost/>
米紙広告日本語版 → http://www.okinawaiken.org/washingtonpost_jp/

普天間基地即時閉鎖・辺野古やめろ・海兵隊は撤退を！

辺野古新基地建設と沖縄の基地固定化、オスプレイの配備・飛行訓練、そして原発再稼働、集団的自衛権行使容認、9条憲法へ「人々の平和への集団的自衛権を無視して着々と打たれる『戦争する国』への布石——今こそ、その趨勢にある「日米安保条約」を見直すべき時ではないでしょうか。

辺野古新基地を断念し、海兵隊の撤退を求めます。

名護市は、今年1月、政府の強硬な圧力に屈せず、再び「辺野古反対」の民意を表明しました。しかし日米両政府はこの名護市市民の民意を無視し、かたがたの「生物多様性」「固有野生動物の生息地」を無視して巨大な新基地建設を強行しようとしています。日本政府は、名護市の生存権、人格権、その自己決定権を無視し、辺野古新基地建設計画を断念すべきです。米海兵隊は日本から撤退せよ。

米海兵隊の普天間基地の固定化に反対し、即時閉鎖・返還を求めます。

住宅密集地にある世界一危険な普天間基地は、米軍が定めた「クランプゾーン」(利用禁止区域)内に小学校や多くの住宅があり、自らの安全原則に違反してだけでなく、住民上空で激しい飛行訓練を実施し、市民に被害の不安や騒音の苦しみをもたらしています。普天間基地は、普天間基地を速やかに閉鎖し、違法な住宅地上空飛行訓練を直ちに停止すべきです。

集团的自衛権—9条憲法を絶対に許さず、日米安保条約をやめて、日米平和友好条約の締結を求めます。

日米安保条約は、対米依存と偏狭的な沖縄差別の上に成り立っています。これは、憲法前文と9条の平和主義に反します。在日米軍基地、原発建設、TPP等から、この対米依存の構造によるものです。日本国憲法は、何れに適合するはずですが、普天間の基地施設と対米治世を止め、日米安保条約を日米平和友好条約に変えることを求めます。



東アジアの平和のため「日米安保条約」はいりません。

「普天間即時閉鎖、辺野古やめろ、海兵隊いない」
沖縄・意見広告運動(第五期)

一人ひとりが生き方を問い直し、行動する時です。全国でこの運動のためのボランティア・スタッフ募っています。

http://okinawaiken.org
E-mail: info@okinawaiken.org

6.14沖縄・意見広告の報告集会

東部西四会舎の詳細は沖縄意見広告のホームページをご覧ください。

開催日時：6月14日(土)午後8:00〜

開催場所：東洋大学・総合教育センター(都立大・水戸校舎3階)

懇話会参加費：0円

懇話会主催：沖縄県協議会(共同代表)

懇話会後援：(株)琉球放送(共同代表)

懇話会協賛：(株)琉球放送(共同代表)

懇話会共催：(株)琉球放送(共同代表)

懇話会協力：(株)琉球放送(共同代表)

お問い合わせ先：事務局

賛同者総数 6,074名

公表可 5,115名

匿名希望 959名